

## 大会参加申込み

- 以下の項目を記載して、大会事務局 [altitude2014@jpnssport.go.jp](mailto:altitude2014@jpnssport.go.jp) 宛に E-mail で下記の項目を明記の上お申込みください。
- メールの件名を「**大会参加申込**」としてください。
  - 1) 氏名
  - 2) フリガナ
  - 3) 所属
  - 4) 連絡先（郵便番号・住所）
  - 5) 電話番号
  - 6) E-mail アドレス
  - 7) カテゴリー（一般 or 学生）
- 大会参加費は以下のとおりです。

|       |            |            |
|-------|------------|------------|
| 事前申込み | 一般 2,000 円 | 学生 1,000 円 |
| 当日申込み | 一般 3,000 円 | 学生 2,000 円 |
- 大会参加費は以下の銀行口座にお振り込みください。

三井住友銀行 志村支店（797） 普通口座  
口座番号：9802435  
口座名義：NPO 法人高所トレーニング環境システム研究会 会計鈴木康弘
- メール内容と大会参加費の入金が確認でき次第、申込み完了の返信をさせていただきます。
- 事前参加申込み締め切りは、**2014年10月10日（水）**とさせていただきます。
- 締め切り日以降は、当日申込みと同じ金額になります。
- 不明な点は事務局までお問い合わせください。

事務局：鈴木康弘（国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部）

TEL: 03-5963-0231 FAX: 03-5963-0232

E-mail : [altitude2014@jpnssport.go.jp](mailto:altitude2014@jpnssport.go.jp)

# 第 18 回高所トレーニング国際シンポジウム 2014

期 日： 2014 年 10 月 25 日(土)

会 場： 国立スポーツ科学センター 大研修室

9:00 受付開始

9:30 開会の挨拶

9:40～11:10

## シンポジウム 1 低酸素研究の最前線 その1

座長:浅野 勝己 (筑波大学名誉教授)

山本 正嘉 (鹿屋体育大学)

常圧低酸素室を利用した Living Low-Training Low + Training High 方式 (LL-TL+TH)の方法論

後藤 一成 (立命館大学 スポーツ健康科学部)

競技者を対象とした低酸素環境下での高強度トレーニングの効果

今 有礼 (中京大学)

低酸素環境でのレジスタンストレーニングが骨格筋の適応に及ぼす影響

11:25～11:55

## シンポジウム 2 高地トレーニング拠点の活用

座長:杉田 正明 (三重大大学)

小林 寛道 (東京大学名誉教授)

飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの活用

伊藤 智彦 (上山市教育委員会)

蔵王坊平アスリートヴィレッジの活用

12:00～13:15

**昼休み**

13:15～15:00

**海外研究者招待講演 競泳の高地トレーニング**

座長:川初 清典 (特定医療法人北海道循環器病院大学)

**Ferran A. Rodoriguez** (スペイン)

Altitude training in elite swimmers for enhancing sea-level performance

-From beliefs to scientific evidence-

15:15～16:45

**シンポジウム 3 低酸素研究の最前線 その 2**

座長:川原 貴 (国立スポーツ科学センター)

萩田 太 (鹿屋体育大学)

低酸素環境における高強度トレーニング

～有酸素性、無酸素性、どちらにより有効か?～

片山 敬章 (名古屋大学 総合保健体育科学センター)

呼吸筋の活動増加による循環調節への影響

内丸 仁 (仙台大学)

高酸素環境の活用と効果に関する検討

16:50～17:05

**総合討論**